

世界小型株厳選ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：世界小型厳選

2019年2月1日から2019年7月25日まで

第 1 期 決算日：2019年7月25日



受益者の皆さまへ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**

(旧:大和住銀投信投資顧問)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

第1期末(2019年7月25日)

基準価額	10,925円
純資産総額	1,667百万円
第1期	
騰落率	+11.8%
分配金	250円

*騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976

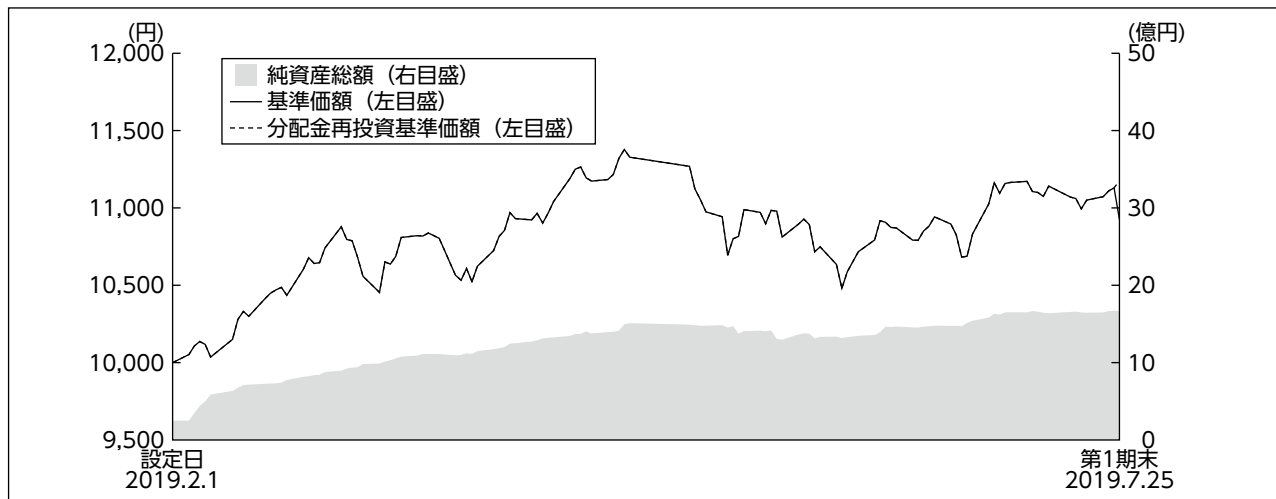
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移



* 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

* 当ファンドにはベンチマークはありません。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

設定日 : 10,000円

第1期末 : 10,925円 (既払分配金 250円)

騰落率 : +11.8% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界小型株厳選マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資を行いました。

(上昇要因)

クラウドベースの給与支払い・雇用管理ソフトのプロバイダーであるPaylocity Holding Corpが、事前予想を上回る決算発表と製品需要の増大を背景に上昇し、大きくプラスに寄与したことが上昇要因となりました。また、AI（人工知能）関連アルゴリズム向け音声・言語によるアノテーションに特化したオーストラリア企業のAppen Ltdが中核サービスへの旺盛な需要を背景に上昇し、プラスに寄与したことも上昇要因となりました。さらに、日本の大手決済処理サービス会社GMOペイメントゲートウェイがオンライン決済の増加や三井住友カード、ビザ・ワールドワイド・ジャパンとのキャッシュレス決済の提携が株価の押し上げ要因となり、プラスに寄与したことも上昇要因となりました。

(下落要因)

Evolent Health Incが最も大きくマイナスに作用したことが下落要因となりました。同社は米国内のヘルスケア・プロバイダーの標準的支払モデルである個別診療支払いから成果型返金モデルへの移管サービスを行っていますが、顧客が返金率の変更を発表したことを機に、収益の下方修正懸念が浮上しました。また、米国の人工補助心臓メーカーAbiomed Incがマイナスに作用したことも下落要因となりました。米国のヘルスケアセクターは、次期米国大統領選挙でトランプ大統領が再選された場合には医療保険制度（オバマケア）が廃止されるとの見方から低迷しました。ただし、Abiomed Incの業績は堅調な伸びを示しています。さらに、台湾の健康食品メーカーTci Co Ltdについては、同社製品の再販業者による効能の誇大表示問題が悪材料となりました。ただし、同社はこの問題には直接関与していません。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年2月1日~2019年7月25日		
	金額	比率	
信託報酬	99円	0.911%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,835円です。
(投信会社)	(55)	(0.507)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(42)	(0.388)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	7	0.067	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(7)	(0.067)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	11	0.099	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式)	(11)	(0.099)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	40	0.373	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(36)	(0.328)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(4)	(0.038)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	157	1.450	

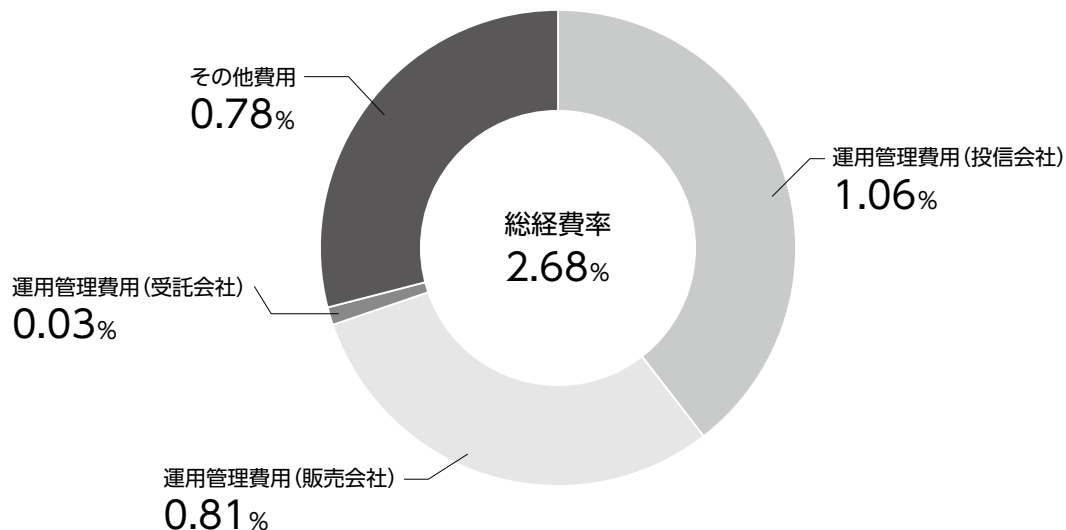
* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率（年率換算）



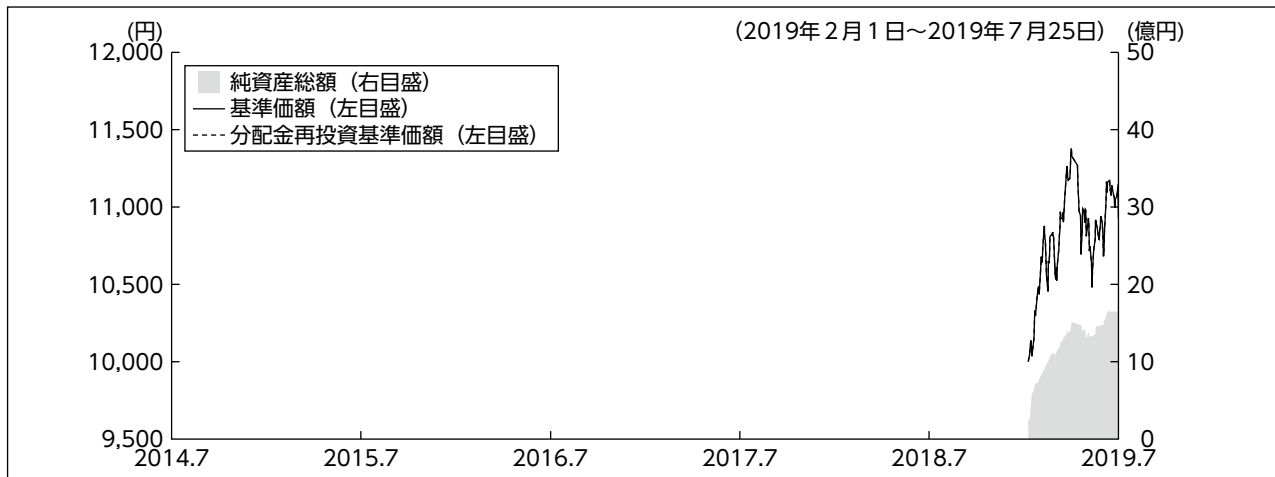
*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.68%です。

最近5年間の基準価額等の推移



* 当ファンドの設定日 (2019年2月1日) より表示しております。

* 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

* 当ファンドにはベンチマークはありません。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2019年2月1日 設定日	2019年7月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,925
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	250
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	11.8
MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	5.7
純資産総額 (百万円)	250	1,667

* MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

● 参考指数に関して

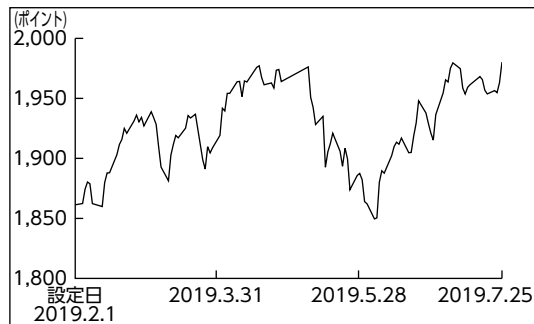
* MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、円換算) とは、MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み、米ドルベース) を委託者が円換算したものです。

* 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

投資環境

当期のグローバル株式市場は、5月は米中貿易摩擦の深刻化により下落したものの、期を通じては上昇となりました。米中貿易摩擦を受けた世界経済成長への懸念の再燃でグローバル株式市場は一時大きく下落したものの、各国中央銀行による景気下支えの発言や新たな景気刺激策への取り組みのほか、6月末に米中が貿易戦争の一時停戦に合意したことなどが、地合いの回復につながりました。

MSCI AC ワールド・スモールキャップ・インデックス (配当込み) の推移



ポートフォリオ

■世界小型株厳選ファンド

主要投資対象である世界小型株厳選マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な株式組入比率は94.3%としました。

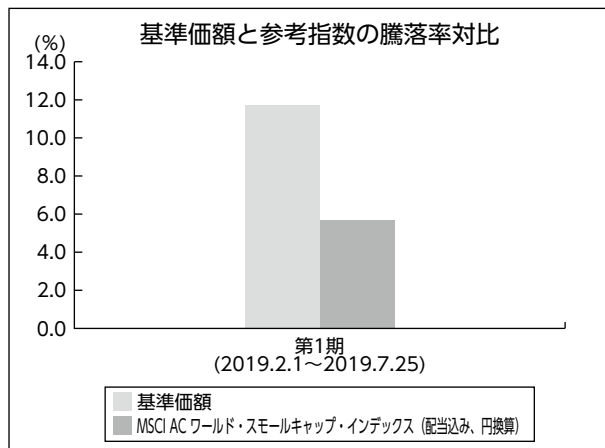
■世界小型株厳選マザーファンド

当期の騰落率は、+12.9%となりました。

オーストラリアの宝くじ販売サイト運営のJumbo Interactive Limitedを組み入れました。同社は、最新のプラットフォームを備えており、市場シェア拡大への寄与が見込まれます。また、世界でゲーム製作を受注する英国のKeywords Studios PLCを組み入れました。ゲーム需要の増大と非中核的テクニカル・サービスの外注増加の恩恵を受けています。一方、業績見通しの不透明感が増したとして医療診断機器のDiasorin S.p.A.を全株売却し利益を確定しました。また、コスト増大が業績の重石となっている中国の火鍋レストランチェーンXiabuxiabu Catering Management (China) Holdingsを全株売却したほか、Balchem Corporationを全株売却しました。Balchem Corporationは、技術提供した医薬品の臨床試験の成功見通しを受け上昇したものの、成功はすでに市場に織り込み済みであり、バリュエーション（投資価値評価）は正当化できない水準にあると判断しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

分配金

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り250円（税込み）とさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第1期	
	2019年2月1日 ~2019年7月25日	
当期分配金	(円)	250
(対基準価額比率)	(%)	2.24
当期の収益	(円)	250
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	924

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

■世界小型株厳選ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

■世界小型株厳選マザーファンド

地政学的緊張や貿易摩擦に加え、企業収益見通しの全体的な下方修正などグローバル経済に減速の兆候が見られるにもかかわらず、株式市場は上昇が続いています。当ファンドでは、候補銘柄、保有銘柄の双方についてこの点を考慮しており、また保有銘柄については業績見通し、競争優位性、バリュエーションを注視しています。引き続き、質、成長力、モメンタムに着目した規律に沿った銘柄選択プロセスを継続していく方針です。

3 お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

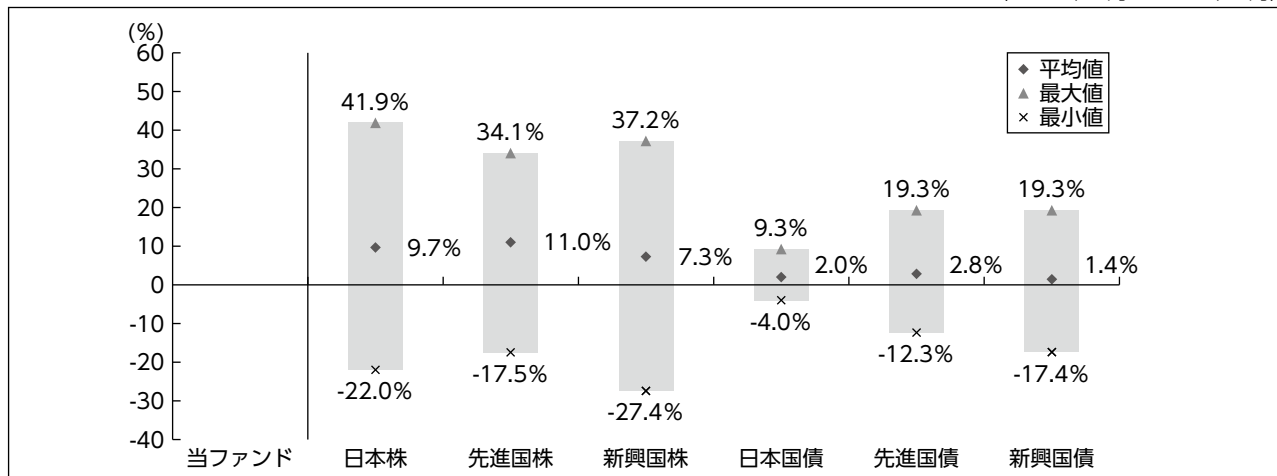
委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

4 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2019年2月1日～2029年1月25日（約10年）	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の小型株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	世界小型株厳選マザーファンド受益証券
	世界小型株厳選マザーファンド	世界の金融商品取引所に上場する株式のうち、小型株
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・運用はファミリーファンド方式で行います。 ・ボトムアップアプローチによるファンダメンタルズ分析により、投資魅力のある銘柄に厳選投資します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>毎年1月、7月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

5 当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2014年7月～2019年6月)



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドは設定から1年が経過していないため、年間騰落率を表示できません。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	FTSE Fixed Income LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

6 当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

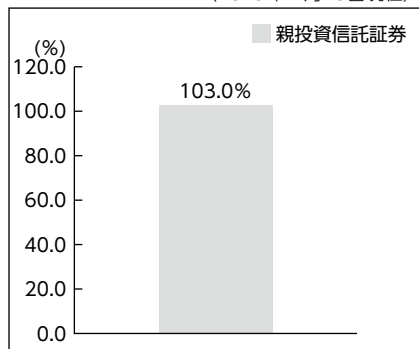
【組入ファンド】

	第1期末 (2019年7月25日)
	組入比率
世界小型株厳選マザーファンド	103.0%

* 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

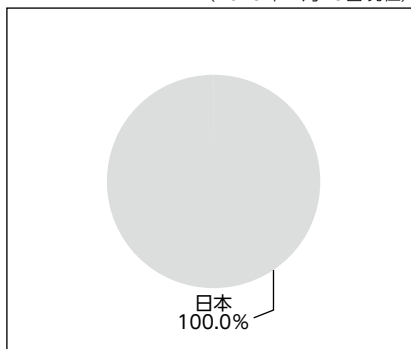
(2019年7月25日現在)



* 純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

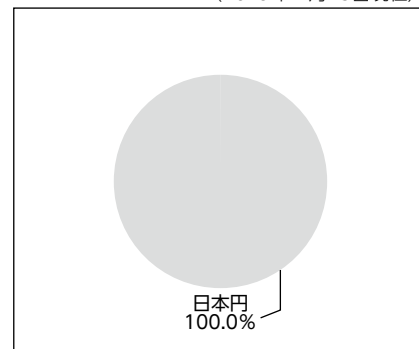
(2019年7月25日現在)



* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2019年7月25日現在)



* ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

純資産等

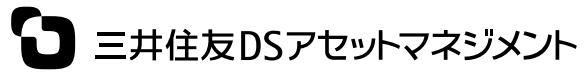
項目	当期末
	2019年7月25日
純資産総額	1,667,410,757円
受益権総口数	1,526,255,793口
1万口当り基準価額	10,925円

* 当期中における追加設定元本額は1,654,157,413円、同解約元本額は377,901,620円です。

組入ファンドの概要

■世界小型株厳選マザーファンド

当ファンド設定日以降に始まる計算期間中に、世界小型株厳選マザーファンドは決算を行っていないため、本運用報告書作成時点において記載すべき情報はございません。



三井住友DSアセットマネジメント